

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第715号（九月号）表紙

- ・ 秋の季語：「木の<sup>このみ</sup>実」 / 子季語：木の実落つ、木の実降る、木の実の雨、木の実時雨、木の実独楽、木の実時（晩秋・植物）
- ・ 来月号（十月号）の兼題です。



櫟（クヌギ）、橡（トチ）、椎（シイ）、榿（カシ）など、果樹を除く木になる実の総称。食べるために拾い集めたり、かわいらしい形に惹かれて拾い集めたりする。独楽などのおもちゃにするものもある。落ちていた木の実を踏んで野山を歩くのも趣がある。

有名俳人の句に以下のようなものがあります。

- ・ 籠り居て木の実草の実拾はばや / 松尾芭蕉
- ・ 猪の庭ふむ音や木の実降る / 炭太祇
- ・ 木の実降る一つ～の音聞ゆ / 高浜年尾
- ・ 椋鳥の木の実の嘴を右往左往 / 星野立子
- ・ 恋人を待たせて拾ふ木の実かな / 黛まどか
- ・ ペン皿にひろひし木の実二三日 / 吉屋信子
- ・ 二つ三つ木の実の落つる音淋し / 正岡子規

\*\*\*\*\*

## ☆前月の清記表に記載の中から選ばれた高得点句（5点以上）

・前月の清記表に記載された16名の112句のなかから互選で高得点を獲得した句です。

- ・少年に戻る素潜り雲の峰／緑汀・・・5点
- ・沖繩忌逝きし乙女のお下げ髪／碧亥・・・5点
- ・水涼し忍野八海富士を背に／恭行・・・5点
- ・川霧の隠す大洲の舳い舟／穂心・・・5点

\*以下は4点句（惜しい！もう少しで5点）です。

- ・ラムネ飲む高校生の喉ぼとけ／勝
- ・屋久島や怒涛の滝の水の嵩／恭行
- ・額の花休むことなき洗濯機／甲舟
- ・盆近し線香も売る里の寺／史浩
- ・雷一つ脅しの如くそれっきり／草炎
- ・料亭の夜のせせらぎ鱧料理／恵吾

\*\*\*\*\*

## ☆トピックス①

### 「2023年度神戸支部総会・懇親会」開催

神戸支部総会・懇親会はコロナ禍等の影響で暫く対面式での開催は出来ていませんでしたが、7月22日（土）、三年振りに湊川神社・楠公会館で開催され総勢54名の方々にご出席頂きました。

総会にご出席の本山和歌山大学学長、金川経済学部長、北村柑芦会会長からそれぞれ以下内容のお言葉を頂戴しました。

- ・学長：柑芦会を含め同窓会全体を盛り上げるために大学内に同窓会のメンバーが集まれる部屋を新たに作った。現役学生も集える部屋として活用して頂きたい。
- ・学部長：10月28日のホームカミングデーの後に「経済学部100周年記念式典」を開催するので是非参加してほしい。併せて、「経済学部100年史」をも発刊するので購入して頂きたい。
- ・柑芦会会長：学長の同窓会を重視するとのお言葉とともに大学のブランド力をアップするために「ブランディング」担当の副学長を任命されたことから学長の本気度が窺え非常に期待している。学部長のおっしゃった「経済学部100周年記念式典」への参加、「経済学部100年史」の購入も是非お願いしたい。

ご挨拶の後は、事務局より2022年度の活動報告および会計報告、2023年度の活動計画および会計予算の報告および説明をいたしました。

続く、今年の学生さんのプレゼンはサッカー部と写真部でしたが、彼らの日々の活動状況をプロジェクターを使ってご紹介して頂きました。

その後、休憩を挟んで、懇親会へと進みましたが、懇親会の冒頭には、今や恒例となった和太鼓集団「ホッと太鼓」による演奏があり食事前のお腹に響く演奏を大いに堪能したところです。演奏の後には、大学1期・柳瀬繁次郎様により乾杯のご発生を頂き、会食・懇談へと進みました。

懇親会の終盤には、桂枝會丸師匠の懐かしい和歌山弁による落語「和歌山弁落語」の口演があり、出席者全員大いに笑わせて頂きました。

そして定刻通り14時30分に散会となりましたが、ご出席者の皆様に大いに楽しんで頂けた支部総会・懇親会ではなかったかと思えます。  
(文責：平林 温州)



\*\*\*\*\*

## ☆トピックス②

### 草炎さん・NHK・「紀州大水害」について

昭和28年(1953年)7月に有田川、日高川を中心に「紀州大水害」が発生しました。当時、小生は、有田川中流域から少し離れた山間部に住んでいたため水害の直接被害は免れましたが、有田川沿いに住居を持っていた親類二家族十数人が狭い我が家に避難してきたことを今でも記憶しています。また、不幸にも近所で山津波が発生して何人かの村人が犠牲になりました。

「紀州大水害」については、「芦火」誌上で草炎さん、穂心さんが何度か記述されていますのでご記憶の方も多いとは思いますが、この「紀州大水害」と和歌山大学、和歌山大学新聞、学生ボランティアと同人・北草炎さんが7月18日のNHK和歌山「ギュギュッと和歌山」、8月2日のNHK「おはよう関西」で取り上げられました。

事前に柑芦会の広報、フェイスブック等を通じて、柑芦会関係者にPRして頂いたもので、ご覧になった方も多かったのではないのでしょうか。

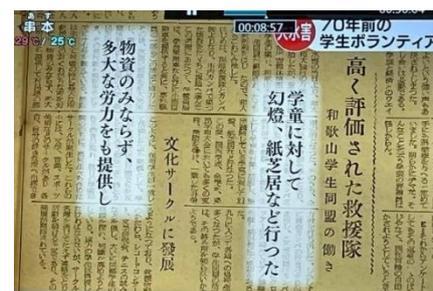
また、草炎さんの所属している姫路支部の幹部の方々にもお伝えしたところ大変喜ばれ、支部総会等を通じて、会員に発信したいと言われていました。

「紀州大水害」と和歌山大学や草炎さんがNHKに取り上げられたのは、草炎さんがエッセイ集「多事彩彩」でしたためおられた「紀州大水害」のことを「芦火」に投稿され、これを編集長・穂永穂心さんが和歌山大学の広報経由橋本唯子准教授に繋いだことがきっかけだったとお聞きしております。

テレビ報道を見逃し方のために、それぞれの番組で報道されたショットを何点か掲載したいと思います。今回の報道で母校のことが広く世間に知れ渡って知名度が大いに上がったことは卒業生の一人として誇らしく思いますし、また大変嬉しいことであります。

草炎さんのおかげです。ありがとうございました。

(文責：平林 温州)



### <俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の18名
- ・昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

### <編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）  
メルアド：[suishin2010@dream.ocn.ne.jp](mailto:suishin2010@dream.ocn.ne.jp)／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
  - ・山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）  
メルアド：[yama723@nifty.com](mailto:yama723@nifty.com)／携帯：090-1349-6727
  - ・平林 義康（大学20期）（俳号：温州）  
メルアド：[hirabayashi9497@yahoo.co.jp](mailto:hirabayashi9497@yahoo.co.jp)／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上

（文責：平林 温州）